

かんたんセットアップ

製品を設置・ご使用になる前に、必ずお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「取扱説明書」をお読みください。

本書では、本機の設置手順について簡単に説明します。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管しておいてください。

1 設置環境を確認する

△注意

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

△注意

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

△注意

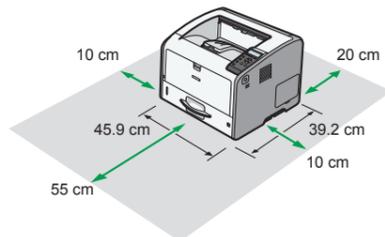
●この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

△注意

●換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

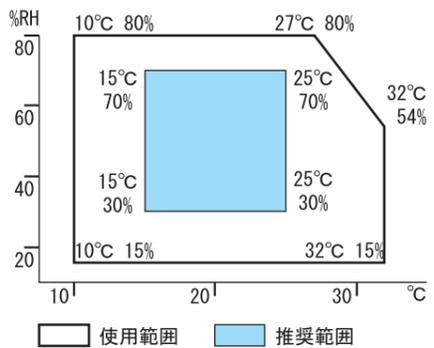
設置環境は、次のことを守ってください。

- メンテナンスをスムーズに行うために、本機の周辺に以下のスペースを確保してください。



- 前後左右の段差が3mm以下の水平な場所に置いてください。
- 故障の原因になるので、次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所
 - 空調機の送風、冷風、温風・ふくしゃ熱が直接当たる所
 - 通気性、換気の悪い所。また、ほこりの多い所
 - ラジオ、テレビ、その他のエレクトロニクス機器に近い所
 - 加湿器に近い所
 - 強い振動が起こりやすい所

●温度や湿度が以下の使用範囲に収まる場所に設置してご使用ください。



2 電源・アースを確認する

△警告

- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、設地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機の電源・アースは、次のことを守ってください。

- 100V、12A、50/60Hzの電源をご使用ください。
- 本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。
 - コンセントのアース端子
 - 接地工事(D種)を行っているアース線

3 同梱品を確認する

おもな同梱品は以下のとおりです。不足品や不具合があったときは、本機を購入された販売店に連絡してください。

※使用説明書、CD-ROM

- かんたんセットアップ(本書)
- 取扱説明書
- 管理者の方へ
- CD-ROM「取扱説明書・ドライバー」

※その他

- 明るさ検知自動電源オフ機能のご紹介
- ご使用前に必ずお読みください
- お客様登録のご案内(又は、保証書申込書)
- 電源コード
- LEDレンズクリーナー

4 本機を設置する

△注意

- 機械本体は約20kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手をもち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

△警告

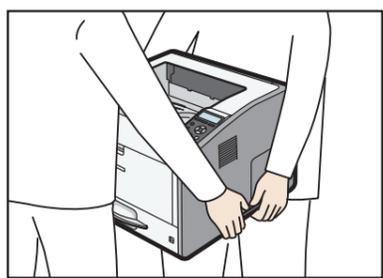
- ポリ袋のWARNING表示の意味は次のとおりです。
- 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

△警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

1 本機を覆うポリ袋を開きます。

2 本機の両側面にある運搬用の取っ手をもち、2人以上でゆっくりと持ち上げ運びます。



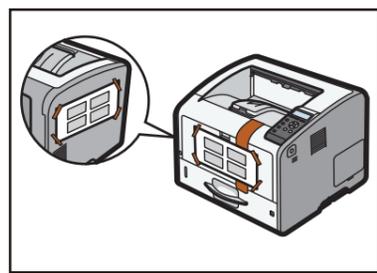
★重要

- 本機を持ち上げるときは、給紙トレイ部分を持たないでください。
- 本機を下ろすときは、手をはさまないようにゆっくりと下ろしてください。

3 本体外側の保護テープを外します。

★重要

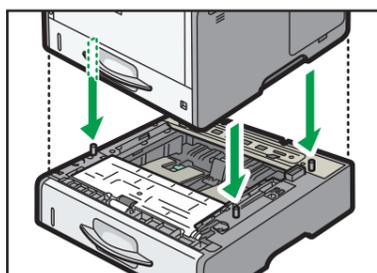
- 本体正面/側面貼付の手順に従い、消耗品シールテープを取り外します。



5 増設トレイを取り付ける

1 梱装箱から増設トレイを取り出し、保護材を取り外します。

2 増設トレイには3本の垂直ピンが付いています。本機の底面にある穴に垂直ピンを合わせ、増設トレイの上に本機をゆっくりと下ろします。



★重要

- 本機を持ち上げるときは、給紙トレイ部分を持たないでください。
- 本機を下ろすときは、手をはさまないようにゆっくりと下ろしてください。

6 用紙をセットする

△注意

- 給紙トレイを引き出すときは、強く引き出さないでください。トレイが落下し、けがの原因になります。

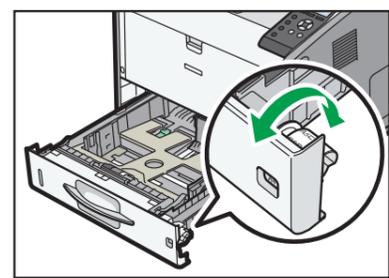
△注意

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

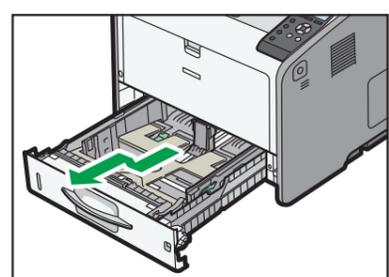
★重要

- 1つのトレイに異なる種類の用紙を混在させないでください。
- サイドガイドまたはエンドガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。

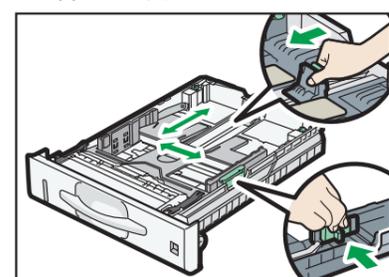
1 給紙トレイをゆっくりと引き抜きます。セットする用紙サイズと給紙方向に用紙サイズダイヤルを合わせます。



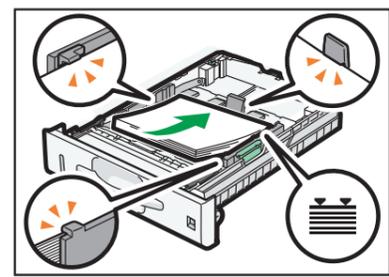
2 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて引き抜きます。



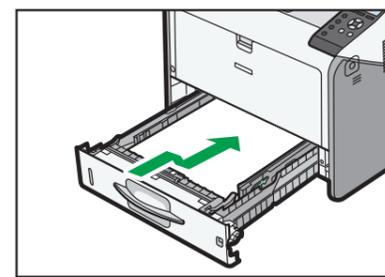
3 サイドガイド・エンドガイドのクリップをつまみながら、セットする用紙のサイズに合わせます。



4 新しい用紙をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。



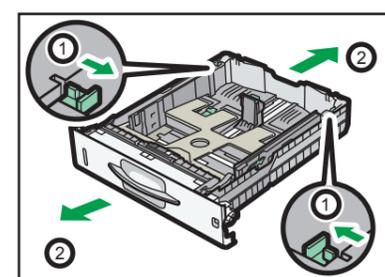
5 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



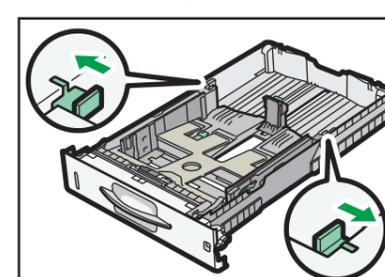
A4より大きい用紙をセットする場合

1 給紙トレイを完全に引き出します。

2 トレイの2箇所のロック(①)を内側にスライドさせて外し、延長トレイ(②)を止まるまで引き出します。

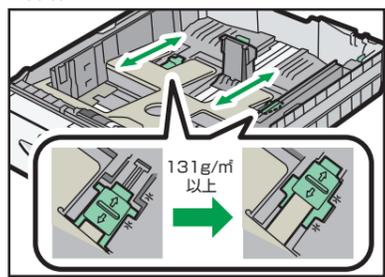


3 トレイの2箇所のロックを外側にスライドさせて延長トレイをロックします。



厚手用紙(131g/m²以上)をセットする場合

トレイ1または500枚増設トレイに用紙をセットするときは、セットする用紙の厚さに合わせてトレイ2箇所の用紙厚変更スイッチを操作します。



△警告

この表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあります。

△注意

この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与えることがあります。

裏面へ



6 電源を入れる

⚠ 警告 ⚠

●同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 ⚠

●電源プラグの刃に金属が触れると、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意 ⚠

●電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

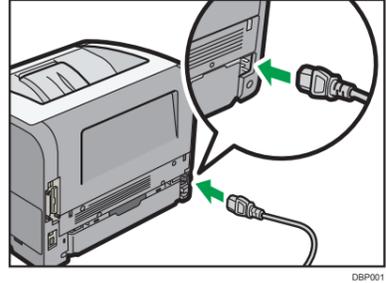
⚠ 注意 ⚠

●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

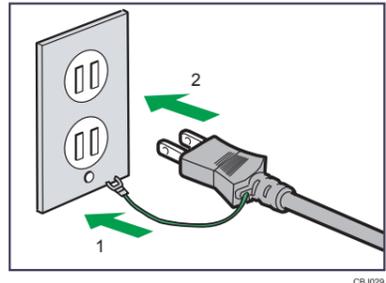
★重要

●本機は節電のために、室内が暗くなったのを検知して自動的に電源を切る機能(明るさ検知自動電源オフ)を持っています。この設定を変更するには、「使用説明書」の「初期設定項目一覧」を参照してください。

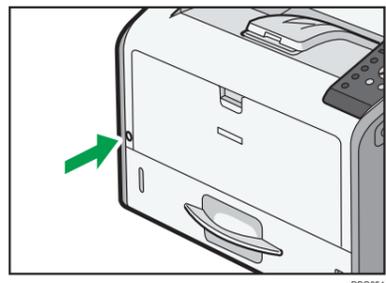
1 本機の背面にある電源コネクタに電源コードを差し込みます。



2 アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



3 電源スイッチを押します。



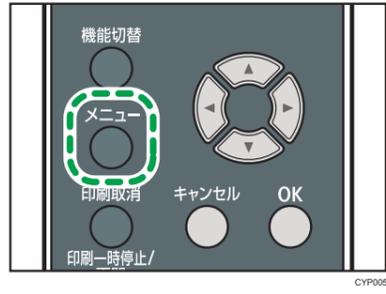
↓ 補足

●初期設定が終わるまで電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。使用できるようになるまで1分から2分かかることがあります。

7 テスト印刷する

プリンター本体の動作確認のために、システム設定リストを印刷します。接続オプションが認識されているか確認します。

1 [メニュー]キーを押します。



2 [▲] [▼] キーを押して[テスト印刷]を選択し、[OK]キーを押します。

3 [▲] [▼] キーを押して[システム設定リスト]を選択し、[OK]キーを押します。

↓ 補足

●印刷されないときは、これまでのセットアップ作業を再確認してください。それでも正常に印刷されないときは、サービス実施店にご相談ください。

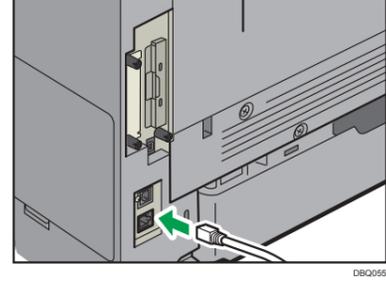
8 パソコンに接続する

ネットワーク接続する

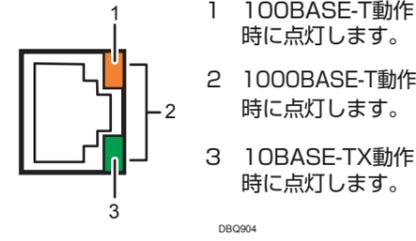
本機をネットワーク環境で使用するときは、各種設定が必要です。

1 本機の電源スイッチを押して電源を切ります。

2 イーサネットケーブルを、本機のGigabitイーサネットインターフェイスに接続し、ケーブルの反対側はネットワーク(ハブなど)に接続します。



3 電源スイッチを押します。



4 操作部の[メニュー]キーを押し、[▲] [▼] キーを使用して操作します。

IPアドレスを手動で設定する

- [インターフェース設定] ▶ [OK]
- [ネットワーク設定] ▶ [OK]
- [有効プロトコル] ▶ [OK]
- [IPv4] ▶ [OK]
- [有効] ▶ [OK] ▶ [キャンセル]
- [本体IPv4アドレス] ▶ [OK] ▶ [指定]
- [IPアドレス] ▶ [OK] ▶ IPアドレスを入力 ▶ [OK]
- [サブネットマスク] ▶ サブネットマスクを入力 ▶ [OK]
- [ゲートウェイ] ▶ ゲートウェイアドレスを入力 ▶ [OK]

IPアドレスを自動で設定する(DHCP)

- [インターフェース設定] ▶ [OK]
- [ネットワーク設定] ▶ [OK]
- [有効プロトコル] ▶ [OK]
- [IPv4] ▶ [OK]
- [有効] ▶ [OK] ▶ [キャンセル]
- [本体IPv4アドレス] ▶ [OK]
- [自動的に取得(DHCP)] ▶ [OK]

↓ 補足

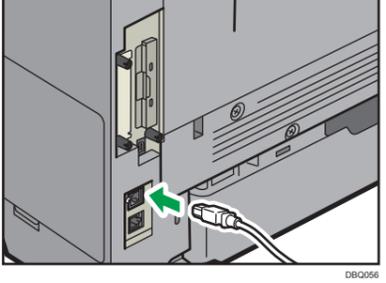
●初期設定では100BASE-TX(100Mbps)が上限となっており、より高速な通信が必要な時は1000BASE-T(1Gbps)を有効にしてください。通信速度を設定する

- [インターフェース設定] ▶ [OK]
- [ネットワーク設定] ▶ [OK]
- [イーサネット速度] ▶ [OK]
- 通信速度を選択 ▶ [OK]

USBケーブル接続する

1 本機の電源スイッチを押して電源を切ります。

2 USB2.0用(Bコネクタ)インターフェースケーブル(5m以下)を、本機のUSBポートBに接続します。



9 ドライバーのインストール

本機をご使用いただくためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

同梱のCD-ROMをコンピューターにセットしプリンタードライバーおよび、ご希望のソフトウェアをインストールしてください。

インストール方法は、パソコンとの接続方法をご確認の上、インストーラーの指示に従い、行ってください。

対応OS

- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8
- Windows 8.1
- Windows Server2003(SP1以降)
- Windows Server2008
- Windows Server2012 (32/64bit・日本語版OSのみ)

↓ 補足

●プリンタードライバーのインストール手順については「ドライバーインストールガイド」を参照してください。

10 テストページを印刷する

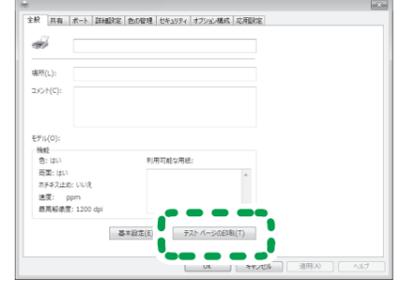
プリンタードライバーのインストールが終了したら、プリンタープロパティの[全般]タブでテストページの印刷を指示し、本機とコンピューターが正しく接続されていることを確認します。

1 「スタート」メニューの「デバイスとプリンター」から本機名称のアイコンを右クリックし「プリンターのプロパティ」を選択します。

↓ 補足

●操作方法は、WindowsのOSにより異なります。

2 「テストページの印刷」ボタンをクリックします。



3 テストページが正しく印刷されたことを確認し「閉じる」ボタンをクリックします。

↓ 補足

●テストページが印刷されない場合は「8」に戻り各種設定を確認し、プリンタードライバーのインストールを再度行ってください。

その他補足事項

本体同梱の消耗品について

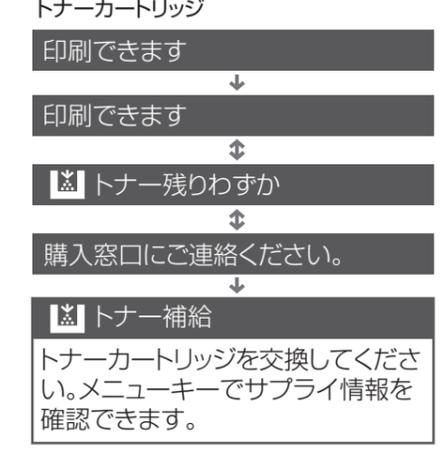
本体に同梱されている消耗品は以下の通りです。ご使用の状況によってはすぐに交換メッセージが表示される場合もありますので、早めにお買い求めいただくことをお勧めします。

- トナーカートリッジ(SUK) : 約3,000枚*
- ドラムユニット : 約25,000枚
- トナーカートリッジ(オプション) : 約12,000枚*

* A4サイズで「ISO/IEC 19752」に準拠(約5%原稿)し、印字濃度が工場出荷時初期値設定の場合の目安です。実際の交換サイクルは用紙サイズ・種類、用紙方向、1ジョブあたりの連続印刷ページ数、原稿の内容などによって異なります。

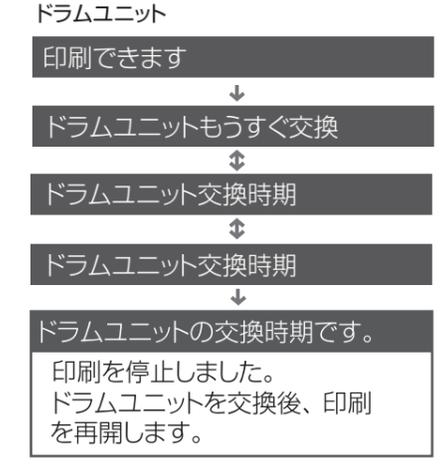
消耗品のメッセージについて

操作パネルに表示される消耗品の交換メッセージは、以下のように推移します。



★重要

●「トナー補給」メッセージが表示されるとトナーカートリッジを交換するまで印刷は行えません。



★重要

●「ドラムユニットの交換時期です」メッセージが表示されるとドラムユニットを交換するまで印刷は行えません。